

茨城県立土浦養護学校 (学校長 堆 勝一)

実施日	平成19年12月14日(金)	時間	午前10時～午後13時40分
実施場所	会議室、中学部3学年教室	対象/人数	中学部3年生15名
担当教諭	鈴木 宏美, 黒澤 弘道	ファシリテーター	庄司 京子
講師	アンバー・チャン(オーストラリア 県国際交流員) オレリアン・パロン(フランス 県国際交流員)		

活動内容

- ・生徒による英語での自己紹介
- ・フランスコーナーとオーストラリアコーナーに分かれて話を聞く
- ・ゲームコーナー(それぞれの国の子どもの歌や遊び、体験フランスのパフォーマンス)
- ・ティータイム(フランスパンの食べ方・ベジマイトの試食)
- ・給食会食

児童の感想

- ・ワールドキャラバンでパロンさんといっしょにフランスのにらめっこをしました。お友だちとにらめっこをしていたら、パロンさんが、そばでアヒルの声を出したので、私は笑ってしまいました。フランスの田舎の写真を見せてもらいました。フランスのいなかは、すてきな所で行ってみたいと思いました。
- ・動物のことやお金のことなどオーストラリアのことがたくさんわかってよかった。
- ・もっといろいろな国のことを知りたくなった。

先生の感想

・講師お二人の、一緒に楽しい時間を共有したいという気持ちと自国のことについて生徒達に知って欲しいという気持ちがよく伝わってきた。また写真などの資料が豊富に用意されていた。そのため生徒達も熱心に話に耳を傾けることができたのだと思う。また、どのような質問に対しても優しく丁寧に答えて頂けたので、生徒達も質問がしやすかった。ゲームでは、それぞれの国の子どもの遊びの紹介をお願いしたが、生徒達の実態にあった選択がなされていて、生徒全員楽しむことができた。

成果と課題

- ・本学年は一年生で自分の住んでいる町、県、国についての学習を進め、二・三年生では世界に目を向けワールドキャラバンを実施したので無理なく学習を発展させることができた。今回は、二度目のワールドキャラバンということもあり、調べ

学習や交流会の計画において「これを調べたい」「こんなことをやりたい」というような積極的な意見が多くできるようになるなど昨年の経験を生かしてより生徒主体で授業を展開することができた。またワールドキャラバンで得た知識を日常の会話の中に生かしたり、もっと色々な国のことを知りたいと世界の国に対する興味・関心が広がってきた生徒が多く見られた。今回は前年度の学習を生かしながら系統的に学習を発展させることができたが、中学部から高等部へと学部が変わるということもあり、これ以後この学習の成果をどのように繋げていけるかということが課題である。今後も何らかの形で世界についての学習を続けていきたい。

